

平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第4号

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

水始涸（みずはじめてかる、七十二候）田の水を落として、稲穂の刈り入れを始めるころ。稲穂は頭が垂れ、黄金色に輝く田が秋の深まりを感じさせます。収穫の真っ只中で、農家の方は大忙しです。見学会も第3回となり、現場説明もノリに乗っています。

今、知りたい～現場進捗～

10月上旬では内側の柱（東柱）や柱の上の組物（大斗、肘木、斗）、床桁の組立をしております。



魅せる現場 第三回見学会

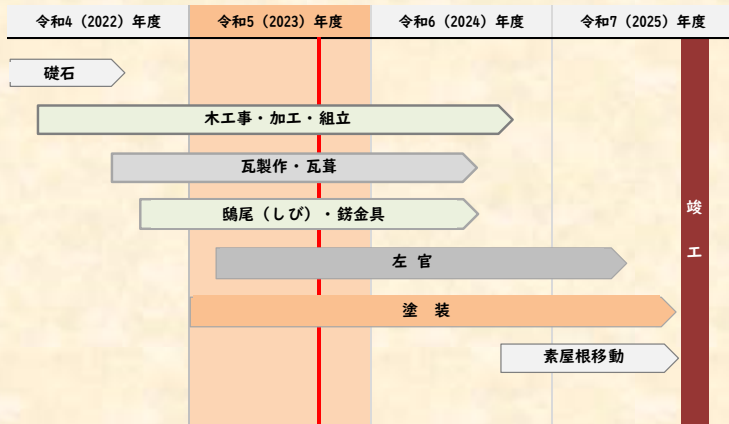
さぁ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年10月3日（火）
参加：23名

第3回目の魅せる現場には、土木に精通した建設業関係者の23名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「木材に割れ目があっても強度を保てる事に驚いた。」
- ・「木材の切り出し方が、原寸図から切り出しているのが印象に残った。」
- ・「現代の建築物、インフラ整備とは全く異なる事に興味深い」



▲工事中

豆知識（一番長い側柱編）

- ・木材の種類：檜
- ・樹齢：200～300年
- ・調達地域：奈良、三重、和歌山、岐阜県
- ・柱の長さ：12.1m（清水寺の舞台の柱より長い）

組物や伝統工具の見学、そしてそれらに実際に触れていただき、当時の技法を感じていただきました。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区九太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所

